

「経営倫理士」取得講座 第20期 受講申込書

日本経営倫理士協会 行

お申込日: 年 月 日

ふりがな			
氏名			
社名・団体名 大学名	所属 役職		
住所	〒	電話番号	
E-mail	(*必ずご記入ください)		FAX
請求書 送付先	(*上記住所と異なる場合にご記入ください)		

Webからのお申し込みは URL: <http://www.acbee-jp.org/>

「経営倫理士」在籍企業 一覧

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| <p>アイ・アール債権回収
明石広報事務所
アコム
旭化成アイフ&リビング
朝日新聞社
味の素製菓
アステラス製菓
アグヴィ合同会社
アドバンテスト
アピリオ債権回収
アフレッシュクレジット
アラーム企業Risk研究処
◆イオン
ウィナーズ・アンド・カンパニー
ウエルネス・システム研究所
エイビーパートナー
エイワイファーマ
エコライフ
エーザイ
荏原エージェンシー
◆荏原製作所
荏原環境プラント
荏原フィールドテック
エムオーティクリエーション
王子製紙
大阪ガス
大阪ガス都市開発
オムロン
◆オムロンソーシアルソリューションズ
大塚製薬工場
オリンパス
学習分析学会
カゴメ
鹿島建設
ガスアンドパワー
神奈川県中小企業団体中央会
カルビー
カルピス
関電工
関西電力
キッコーマン
キッセイ薬品工業
キヤノン
京都大学
協和発酵キリン
近畿三菱自動車販売
クマヒラ
グラクソ・スミスクライン
クラレ</p> | <p>黒田電気
経営倫理実践研究センター
神戸製鋼所
ココロ
コーチングバンク
サノフィ
参天製菓
◆サントリーホールディングス
サントリーウェルネス
サントリーショッピングクラブ
サントリービジネスエキスパート
三基商事
学校法人産業能率大学
サンメッセ
三洋信販
◆システムフロンティア
シスメックス
資生堂
シップヘルスケアファーマシー東
日本
清水建設
シーレックス
ジェイ・エル・エイ
ジェイ・ヴァック
新東工業
新日本製鉄
水ing
スキューズ
スズキ
学校法人聖学院大学
生命科学インスティテュート
清和総合建物
セブン&アイホールディングス
セブン銀行
全国農業協同組合連合会
全国農業会議所
全農グリーンリソース
創価大学・大学院
ソフトバンクモバイル
第一三共
第一三共ロジスティクス
第一製菓
ダイオース
大正富山医薬品
ダイセル化学工業
大鵬薬品
大明
ダイヤル・サービス
大和ハウス工業
ダスキン</p> | <p>田辺製菓
中央大学
中外製薬
中部電力
ちよだ鮪
月島機械
月島テクノメンテサービス
ツムコン
ディー・クエスト
帝人
帝人加工系
デジタル・アドバタイジング・コン
ンソーシアム
電通
◆東京ガス
東京ガスオートサービス
東京急行電鉄
東京社会福祉社
東京製綱
東京電力
東芝テック
東芝テックソリューションサービ
ス
東邦テナックス
東洋インキ製造
トーイツ
トータル保険サービス
ナイキジャパン
ナイス
ナスダック・ジャパン
ナムコ
日通キャピタル
日通NECロジスティクス
日本アドバタイザーズ協会
日本アムウェイ
日本アルコン
日本経営協会総合研究所
日本ケミコン
日本血液製剤機構
日本原子力発電
日本原燃
◆日本工営
日本航空電子工業
日本香堂
日本シーエスアール認証登録機構
日本信販
日本生活協同組合連合会
日本生産性本部
日本ソフトウエア
日本テキサス・インスツルメンツ</p> | <p>日本電気
日本電信電話
日本能率協会総合研究所
日本ベクトン・ディッキンソン
日本メディメンタル
日本旅行
パイオニア
ハウス食品グループ
バクスター
博報堂
博報堂DYホールディングス
長谷川香料
パナソニック
パナソニックエコソリューション
ズ社
パナソニックヘルスケア
ハリマ化成グループ
ビジネスコンサルタント
日立キャピタル
日立電子サービス
雲雀丘学園 中山台幼稚園
ヒューマンリンクシステム研究所
富士ゼロックス
藤田産業
富士通
富士フイルム
富士フイルムRIファーマ
芙蓉総合研究所
プライスウォーターハウスクー
パース
ブライミクス
プリストル・マイヤーズ
ブリヂストン
プロエイム
プロミス
ベターアプローチ
ベネッセコーポレーション
ペンタックス
法政大学大学院
ポーラ
ポーラ・オルビスホールディングス
ポラス
三井物産
三菱化学
三菱ケミカルホールディングス
三菱地所
三菱地所プロパティマネジメント
三菱重工業
三菱UFJニコス
三菱UFJニコス労働組合</p> | <p>宮崎県自治学院
ミライト・テクノロジーズ
ミライト・ホールディングス
明治学院大学
メタウォーター
持田製菓
矢崎エナジーシステム
ヤンセンファーマ
雪印乳業
ユニ・チャーム
横河ソリューションサービス
横河電機
ライオン
ライトマネジメントコンサルタン
ツジャパン
ライフイノベーション総合支援機構
らでいっしゅぼーや
リクルート
リクルートオフィスサポート
理研ビタミン
立命館大学
琉球ジャスコ
◆ローソン
ローソンHMVエンタテイメント
弁護士法人若狭・高橋法律事務所
ワコール
BE1ビジネス倫理研究所
C.C.コンサルタント
DHCサービス
FM802
GEヘルスケア・ジャパン
JLA
JPRON
KTコホート研究所
MiNi-Go研究所
M.Pro-Consulting
MSD
NECソフト
NECソリューションイノベータ
NECフィールドینگ
NECロジスティクス
PEC・OR
SMBCコンシューマーファイナンス
SLA&ITSMコンサルティング
TEPCOコールドバンスコールド
センター
TDK
三菱日立パワーシステムズ</p> |
|---|---|---|---|---|

【お問い合わせ先】

NPO法人 日本経営倫理士協会 事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5-4 桜井ビル 3階
TEL/FAX:03-5212-4133 E-MAIL: info@acbee-jp.org
URL: <http://www.acbee-jp.org>

*一部の社名は受講時のもの
*◆印は、ACBEE団体会員企業
【第1期生(1997年)～第19期生(2015年) 562名】

「経営倫理士」 取得講座

総合コース

2016年 5月～11月 (8月は休講)



全14講座 15テーマ

本講座は、日本経営倫理士協会(ACBEE JAPAN)公認の資格「経営倫理士」を取得するための専門講座です。経営倫理の理論研究・実践ノウハウを総合的に体系づけて学びます。主要テーマは、経営倫理、CSR、コンプライアンス、危機管理、女性と人権、職場のハラスメントなど幅広く、各分野のベテラン専門講師が担当します。

特色は①新任の担当者に最適。即戦力に ②就職活動やコンサルタント目指す際に有利 ③グループワーク導入した参加型講座、懇親会などの異業種交流会による情報交換——など。

560名超す「経営倫理士」 第一線で活躍中…

好評！リーズナブルな受講料 1テーマを「1万円余」で学ぶ

第20期：「経営倫理士」取得講座

講座開催	開催日	講義テーマ、講師名（敬称略 ＊印は新任講師）	概要
1	5/24 (火)	①「今、なぜ経営倫理なのかー経営価値四原理システムの目的」 桐村 晋次（人材育成学会 理事／日本産業カウンセリング学会 特別顧問）	経営倫理の総論をふまえた上で、経営倫理実践研究センター（BERC）創立者である故・水谷雅一氏が提唱した「経営価値四原理システム」について解説。企業活動において重要な四原理、「効率性」「競争性」「人間性」「社会性」について学ぶ。また、経営価値四原理システムを自社で実践するためのノウハウについても説明。
2	6/2 (木)	②「経営倫理と法務」 浜辺陽一郎（青山学院大学法務研究科（法科大学院）教授／ 弁護士法人 早稲田大学リーガル・クリニック 弁護士）	経営倫理と法務との関係について解説する。具体的には、経営倫理の要請から、コンプライアンスとCSRが求められていること、そこで求められているコンプライアンスとは何か、企業倫理遵守の必要性、コンプライアンス推進と内部統制システムの関係、会社法、公益通報者保護法や独禁法の影響、経営倫理を推進するための論理と説得のポイント（トップから一般従業員まで、その経営環境の変化をいかに認識させるか）、コンプライアンス経営の技法と内部統制のあり方など、コンプライアンス経営の基本的な考え方について講義する。
3	6/7 (火)	③「経営倫理とマネジメント」 池田 耕一（立命館大学大学院経営管理研究科 客員教授／日本経営倫理士協会 理事）	急速なグローバル化のなか、経営倫理は組織マネジメントにおいて動的かつ多面的に展開しつつある。現代のマネジメントに必須のものとなった経営倫理に深く関係するコンプライアンス、内部統制、リスクマネジメントについて、企業事例を交えながら理論と実践の両面で構造的に把握する。
4	7/4 (月)	④「経営倫理と情報法コンプライアンス」（グループワーク講座） 高野 一彦（関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 副学部長・教授、 ／日本経営倫理士協会 理事）	現在わが国の企業で発生する「情報セキュリティインシデント」諸課題をとり上げる。「情報」の利活用と保護に関する法制度を解説するとともに、ケース・メソッドによりディスカッションをとおして、合理的な経営判断の基準やコンプライアンス体制を探索する。
5	7/11 (月)	⑤「企業不正と検察」 若狭 勝（衆議院議員／弁護士）	企業不祥事は5つの価値観（①公正 ②透明性 ③説明責任 ④情報公開 ⑤情報管理）の何れかに反する行為と説く。しかしこれら価値観は時代を背景に「動く」もの。事例を挙げて、組織の存続維持を図る「リスク管理と危機管理」のあり方（管理術・対応術）、組織独自のコンプライアンスへつなげる。
6	7/21 (木)	⑥「ダイバーシティ経営と女性活躍」 名取 はにわ（日本BPW連合会 理事長／元・内閣府男女共同参画 局長）	男女共同参画社会基本法及び最近の男女共同参画政策、さらに、ダイバーシティ（多様性）マネジメントの観点から女性の社会への参画、活躍を考察する。ジェンダー・ギャップ・指数が低位の日本において、女性が活躍するためには、①ワーク・ライフ・バランス ②女性の能力開発（ポジティブ・アクションを含む）が必要。企業戦略に止まらない「女性のエンパワーメント」へアプローチする。
7	7/26 (火)	⑦「経営倫理とCSR」 小山 巖也（経営倫理実践研究センター 上席研究員／関東学院大学副学長・経済学部教授）	CSR（企業の社会的責任）について平易に解説するとともに、事例を用いて、CSRの遂行に際して気を付けるべき点などについて考察する。ISO26000のみを取り上げるわけではない。

8	9/6 (火)	⑧「ハラスメント防止対策の取り組み」 岡田 康子（株式会社クオレ・シー・キューブ 代表取締役）	IT化や雇用形態の変化で働く人の意識が多様化し、そこで生まれる様々なストレスがパワハラを誘発する要因にもなっている。今、企業にとってパワハラ対策は重要課題となってきた。最新のパワハラ問題と企業の対策事例について紹介する。
9	9/13 (火)	⑨「これからの企業と消費者の関係を考える」 ーこれまでのCS、CSR、リスクマネジメントを見直し、本質的な取り組みへー 古谷 由紀子（サステナビリティ消費者会議 代表／経営倫理実践研究センター フェロー）	企業は消費者に対し、CS、CSR、リスクマネジメントなどに取り組んでいるが、それらは効果的に行われているだろうか。さまざまな事例を参考に、企業と消費者との関係を本質から問い直し、今後の取り組みを考える。
		⑩「経営倫理と会計学」 大田 博樹*（東京交通短期大学 教授／日本経営倫理士協会 理事）	不正会計の発生メカニズムについて事例を交えて明らかにするとともに、不正会計のリスクを低減させるための手法について会計学の視点を中心に考察する。
10	9/27 (火)	⑪「経営倫理とCSV」 水尾 順一*（駿河台大学経済経営学部・大学院総合政策研究科教授 ／日本経営倫理学会副会長）	CSRとCSVについて両者の考え方を明確にしたい。「普遍的価値」のCSRと、今話題のCSVについて、株式会社明治のカカオ豆プロジェクトや、ヤクルトレディーの活動、スターバックスの産地支援など、実際に現地取材をした事例なども含めて具体的に述べる。
11	10/4 (火)	⑫「経営倫理の教育・研修」（グループワーク講座） 村松 邦子（ウェルネス・システム研究所 代表取締役／日本経営倫理士協会 理事）	企業・組織のコンプライアンス推進のためには、①経営陣の言行一致 ②対話ができる風土 ③他部門との連帯による統合的な教育・研修プログラムが必要。倫理教育における課題、問題解決法について共有。ディスカッションしながら、効果的な教育・研修のあり方を受講生と一緒に考える。
12	10/11 (火)	⑬屋外視察研修「東京ガス株式会社 扇島LNG基地」	東京ガス・扇島LNG基地は、世界一規模の液化天然ガス（LNG）貯蔵タンクを有し、首都圏の都市ガス製造・供給をコントロールする拠点。同タンクの安全性を図る取り組みや、周囲の景観を損なわないための工夫などを視察する。
13	10/17 (月)	⑭「講座総括 シンポジウム」 企業不祥事にどう向き合うかー フシリ 高野 一彦（日本経営倫理士協会 理事） テーダ 山中 裕（日本経営倫理士協会 総合企画委員）	全員参加型の集中討議。受講者は必ず1回は発言する。ACBEEムック版『年間企業不祥事動向（ワースト10）経営倫理士100人アンケート』（2010～14年のまとめ）を参考に。
		⑮「経営倫理士講座の総括」 千賀 瑛一（日本経営倫理士協会 専務理事／経済ジャーナリスト 日本記者クラブ会員）	「経営倫理士」の役割は企業・組織の「総合リスクマネージャー」である。身の回りに起きる種々のリスク・危機管理テーマを、総合的にマネジメントし、経営倫理実践の推進的役割を担う人材として連携してほしい。
		最終筆記試験	◇全14講座 15テーマ ●期 間：2016年5月～11月（8月は講義なし） ●時 間：原則として、毎回14:00～16:50 ●会 場：渋谷SIBIL貸会議室（東京都渋谷区渋谷1-1-11 6階） ●受 付：4月末日まで
11/8 (火)		面接試験 <12:00～17:00>	
11/14 (月)		修了式・認定書授与式<15:00～18:00>	

■主催：日本経営倫理士協会（ACBEE JAPAN） ■協力：日本経営倫理学会（JABES）、経営倫理実践研究センター（BERC）

20期受け付けスタート。今年こそ資格取得を

経営倫理士は、民間の各種認定資格の中でも、特に注目されている資格。総合リスクマネージャー、あるいはリスクコンサルタントとも位置付けられ、経営倫理、コンプライアンス、CSR、リスク管理など、幅広く対応できるスペシャリスト。1997年スタート、第20期目（1期1年制）を迎える。コンサルタント、企業担当者として活躍、経営倫理担当役員も誕生している。

各社とも、最近では経営倫理、危機管理教育に力を入れており、1社で複数の経営倫理士を配置するための受講も見られる。さらに、最近では女性の受講生が増えているのも特色。一流講師陣によるハイレベルの講義内容。座学に加えて受講者参加型のグループワークやミニシンポジウム、視察研修などを通じ、実践的な知識・知見を習得する。

経営倫理士の価値

即戦力として…

【経営リスクが発生した際のアドバイザー】
様々な不祥事発生時の、リスク対応の指導・アドバイザー等の重要な戦力として活躍します。

【CSRやサステナビリティ課題のスペシャリスト】
社会的責任や持続可能性に関する経営課題を調査・研究、実践するスペシャリストとして活動します。

【経営倫理の研修・教育のプロフェッショナル】
経営倫理、CSR、コンプライアンス等の教育・研修の専門家として、本社や関連組織等のニーズは、幅広いジャンルで確実に高まっています。

未来へ向けて…

【幹部社員として求められる知識】
経営者として、幹部社員として身につけるべき知識やノウハウを学べます。

【コンサルタントを目指す際の必要資格】
転職、就職によってコンサルタントを目指す場合には、幅広い専門知識を駆使して、研修指導、アドバイザーとして有効な資格。

【就職活動時に注目される】
大学生・大学院生の就職活動等に、強くアピールできる資格「経営倫理士」。

充実した講師陣、異業種交流も好評

日本経営倫理士協会（ACBEE）では、経営倫理実践研究センター（BERC）並びに日本経営倫理学会（JABES）の全面協力の下に本講座を開講しています。本講座の講師は、BERC、JABESを中心に、国内の大学、研究機関等の専門家に依頼、充実した講師陣です。出講者の中には「経営倫理士」もいます。受講生同士の異業種交流もメリットがあると好評です。

受講対象者

- ◆企業のトップ、役員 ◆シニア、コーポレートスタッフ（法務、総務、人事、企画、広報、営業の部長、課長等）
- ◆経営倫理・CSRなど関連セクションの担当社員、教育研修担当者
- ◆営業企画、技術・生産管理などの現場担当マネージャー
- ◆企業グループ内の協力会社・関連会社のトップ、役員、幹部社員等
- ◆大学生、大学院生、調査研究機関や各種団体等の役員、職員等
- ◆弁護士、公認会計士、税理士、中小企業診断士、国家資格保有者
- ◆コンサルタント、経営アドバイザー等

資格の認定

資格認定の要件（出席状況、学力評価等）を満たした方を「経営倫理士」に認定いたします。

要件
講座への出席率
85%以上

要件
講座期間中、
2回のレポート提出

要件
筆記試験
及び面接試験

受講料

195,000円（資料代・受験料を含む）

受講期間5～11月、1人分、全14コース、消費税別